

積の大きさ

年 組 名前

/16

■ 次のかけ算の積と、かけられる数の大小関係を、不等号を使って表しましょう。

① $6000 \times \frac{5}{6}$ 6000

かけられる数 かける数

② $3000 \times \frac{15}{8}$ 3000

かけられる数 かける数

③ $8630 \times \frac{33}{32}$ 8630

かけられる数 かける数

④ $1200 \times \frac{3}{2}$ 1200

かけられる数 かける数

⑤ $2900 \times \frac{11}{12}$ 2900

かけられる数 かける数

⑥ $300 \times \frac{14}{15}$ 300

かけられる数 かける数

⑦ $7050 \times \frac{7}{3}$ 7050

かけられる数 かける数

⑧ $5170 \times \frac{35}{34}$ 5170

かけられる数 かける数

⑨ $530 \times \frac{7}{6}$ 530

かけられる数 かける数

⑩ $180 \times \frac{4}{7}$ 180

かけられる数 かける数

⑪ $80 \times \frac{23}{24}$ 80

かけられる数 かける数

⑫ $4080 \times \frac{179}{100}$ 4080

かけられる数 かける数

⑬ $97 \times \frac{117}{100}$ 97

かけられる数 かける数

⑭ $9320 \times \frac{7}{100}$ 9320

かけられる数 かける数

⑮ $260 \times \frac{3}{100}$ 260

かけられる数 かける数

⑯ $400 \times \frac{5}{12}$ 400

かけられる数 かける数

積の大きさ

年 組 名前

/16

■ 次のかけ算の積と、かけられる数の大小関係を、不等号を使って表しましょう。

① $6000 \times \frac{5}{6}$ $<$ 6000
かけられる数 かける数

② $3000 \times \frac{15}{8}$ $>$ 3000
かけられる数 かける数

③ $8630 \times \frac{33}{32}$ $>$ 8630
かけられる数 かける数

④ $1200 \times \frac{3}{2}$ $>$ 1200
かけられる数 かける数

⑤ $2900 \times \frac{11}{12}$ $<$ 2900
かけられる数 かける数

⑥ $300 \times \frac{14}{15}$ $<$ 300
かけられる数 かける数

⑦ $7050 \times \frac{7}{3}$ $>$ 7050
かけられる数 かける数

⑧ $5170 \times \frac{35}{34}$ $>$ 5170
かけられる数 かける数

⑨ $530 \times \frac{7}{6}$ $>$ 530
かけられる数 かける数

⑩ $180 \times \frac{4}{7}$ $<$ 180
かけられる数 かける数

⑪ $80 \times \frac{23}{24}$ $<$ 80
かけられる数 かける数

⑫ $4080 \times \frac{179}{100}$ $>$ 4080
かけられる数 かける数

⑬ $97 \times \frac{117}{100}$ $>$ 97
かけられる数 かける数

⑭ $9320 \times \frac{7}{100}$ $<$ 9320
かけられる数 かける数

⑮ $260 \times \frac{3}{100}$ $<$ 260
かけられる数 かける数

⑯ $400 \times \frac{5}{12}$ $<$ 400
かけられる数 かける数